

令和5年度

家庭学習のすすめ



～ 手引き ～

◎家庭学習は、次のような目的があります。

「学習の習慣化」：毎日勉強する習慣をつけるためです。

「習熟」：計算や漢字など、練習しなくては身につかない学習をしっかりとできるようにするためです。

「定着」：学校で習った勉強をしっかりと身につけさせるためです。

「自立」：自分のために、自分で勉強することができるようになるためです。

◎この手引きは、学年の発達段階に合わせて作成しました。宿題以外に取り組んでほしい内容が示されています。

・子供の学力を高めるには、低学年（１・２年生）から学習習慣を身につけることが大切です。

○低学年：３０分以上

○中学年：４５分以上

○高学年：６０分以上

チャレンジしよう！！

鴻巣市立赤見台第一小学校

1 年生

毎日30分間 家庭学習のすすめ



◎復習による基礎固め、学習するという習慣づけが目的です。

◎まずは宿題を確実に済ませてから、できそうなこと、やってみたいことに、『楽しく』をモットーに、無理なく取り組ませたいです。

- 1 自学用のノートを用意します。（12マス前後のノートがお勧めです）
冊子になっている物でしたら、市販の問題集を自学用に用意していただいても結構です。
プリントで学習する場合は、自学用のノートに貼ってください。
- 2 取り組む時間帯を決めて、時計を見ながらするとよいです。
- 3 必ず家の人が見届けをしてください。（間違えたまま覚えてしまわないよう正しく学習できているか見てください。特に漢字）
- 4 内容の例

国 語	○ひらがなのことばあつめ 小さく書く字（っやゅょ）、濁点や半濁点のつく字（がぎ・・・ばび・・・） しりとりなど 楽しみながらできるとよいです。 ○カタカナや漢字の練習 一字だけを書くより、言葉にしての練習をお勧めします。 ○文作り（主語述語 いつ どこで だれが 何を どうした・・・を意識して） ○視写（教科書教材の書き取り） ○日記
算 数	○授業でやった問題をもう一度やる。 ○これまでのテストやプリントをもう一度やる。（ノートに写すとよいです。） ○計算カード （時間を計って記録しておく、伸びがわかります。） ○自作問題（お家の人を作成）をとく。 ○計算ドリル
そ の 他	○読書 ○本や図鑑で調べたことをノートに書く。 ○お手伝い（ノートにやったことや感想を記録しておく、とよいです。）

ノートの使い方

☆学習した日、教科、教科書やドリルのページも書きます。

☆文字を丁寧に書かせたいです。

※やらされている意識が強くなって子どもが「勉強嫌い」にならないよう、
よりそって褒めて励まして・・・楽しみながら少しずつ始めましょう。

1 ねんせい

まいにち 30ぶんの かていがくしゅうに ちょうせんしよう！

- 1 つくえのまえにすわり、とけいをみる。(はじめのじこくとおわりのじこくをかく)
- 2 れんらくちょうをみて、まずは しゅくだいをおわらせる。
- 3 きょうやる『じがく』をきめる。
※じがく・・・しゅくだいとはべつに、じぶんからすすんでやるがくしゅうのことです。
- 4 じがくをしたら、いえのひとにみてもらいましょう。

☆たとえばどんなことをすればよいのかな。

こ く こ	○ひらがな ことばあつめ ちいさくかくじ(つやゆよ) てんてんやまる(がぎぐ・・・ぱぴぷ・・・)のつくじ しりとり ○<u>かたかな れんしゅう(かたちをよくみる)</u> ○<u>かんじ れんしゅう(かたちのほかに、かきじゅんもおぼえる)</u> おぼえたら、ことばにして れんしゅうするとよい。 ○ぶんづくり ○ししゃ(きょうかしよの おはなしを のうとにかきうつす) ○につき
さ ん す う	○じゅぎょうでやった もんだいを もういちどやる。 ○いままでやったてすとや ぷりんと の やりなおしをする。 (のうとに もんだいを うつしてやるとよい。) ○けいさんかあど (じかんをはかってきろくしておく、のびがわかります) ○おうちのひとに だしてもらった もんだいをとく。 ○けいさんどりる(のうとに もんだいを うつしてとく。)
そ の ほ か	○どくしょ ○ほんや すかんなどで しらべたことを のうとにかく。 ○おてつだい

のうとのつかいかた

☆がっこうで つかうものとは べつに、『じがくのうと』をよういする。

☆もじは、ていねいに かきましょう。

☆がくしゅうした ひ、はじめと おわりの じこく、きょうか、きょうかしよ や
どりるの ペえじも かきましょう。

2年生

毎日30分間 家庭学習のすすめ



1 最初にまず宿題を済ませます。

2 自学に取り組みます。

- 自学用のノートを用意します。（マス目ノートがお勧めです。）
- つぎの学習内容例を参考に組み組みましよう。

国 語	○漢字ドリルの<u>すでに習った漢字</u>を書く。 ○漢字ドリルのテストのページをやり、丸つけをする。 <u>間違えた漢字は、何度も書く。</u> ○教科書の後ろに載っている1年で習った漢字を書く。 ○教科書や漢字ドリルに出ている漢字を使って、短い文を書く。 ○教科書の本文や詩などを視写する。 ○<u>新聞のスクラップ</u>をする。 （気に入った記事や写真を選び、題名をつけたり、感想を書いたりする。） ○日記を書く。 ○読書をして、感想を書く。 ○漢字やカタカナの言葉集めをして、ノートに書く。
算 数	○その日に習った問題をもう一度やってみる。 ○計算ドリルをやる。丸つけをして、<u>間違えた問題は、やり直す。</u> ○テストやプリントのやり直しをする。 （ノートに問題を写して、やり直すとともに、さらによい。） ○計算カードで練習する。（時間を計って記録すると、伸びが分かります。） ○問題を作って、計算し、答えを求める。
そ の 他	○本や図鑑などで調べたことをまとめる。 ○お手つだいをして、お手つだいの方法をまとめたり、感想を書いたりする。 ○図工のアイディアスケッチをする。

ノートの使い方

- ☆学習した日、教科、教科書やドリルのページも書く。
- ☆文字を丁寧に書く。

保護者の皆様へ

※少しずつでも毎日続けることが大切です。低学年のうちに自学の習慣を身につけられるといいですね。

※「やらされている」意識から子どもが「勉強嫌い」にならないように、寄り添って、褒めて、励まして、楽しみながらできるものを、少しずつ取り組むのが長続きのコツです。

3年生

毎日45分間 家庭学習のすすめ



- 1 机にすわり、始める時間を見る。（何時までやれば、45分か見ておくため）
- 2 連絡帳を見て、宿題を確かめ、宿題と音読をしっかりと終わらせる。
- 3 今日やる自学を決める。

国 語	○漢字ドリルの習った漢字とその読み方を、何度もノートに書く。 ○漢字ドリルのテストのページをやり、丸付けをする。 ☆間違えた字は、何回も練習する。 ・教科書の後ろの、1・2年生で習った漢字を書く。 ・教科書や漢字ドリルに出ている言葉の意味を調べ、ノートに書く。 ・教科書の本文を視写（そのままうつす）する。 ・日記を書く。
算 数	・その日の学習をまとめる。習った教科書の問題をもう一度やってみる。 ○計算ドリルをやる。丸付けをして、<u>間違えた問題は、やり直す。</u> （全部のページを、最低2回はやろう。） ・テストやプリントのやり直しをする。 （ノートに問題を写してやり直すとさらによい。）
社会 ・ 理科 など	・その日の学習をまとめ直す。（ノートにもう一度書いて、しっかり覚える。） ・鴻巣のことや理科で学習したことでもっと調べたいことを、本、図鑑、インターネットなどで調べてまとめる。 ・学習の単元が終わったら、まとめテストに向けて、単元全体の復習をしながらノートにまとめる。 ・総合のテーマについて調べ終わらなかったこと、もっと調べたいことについて調べてまとめる。 ・テレビや新聞で興味をもったことについて調べてまとめる。

ノートの使い方

★学習したことや調べたことが、後から見ても分かるように、ノートはていねいに、書きましょう。

★「自学」であることがすぐ分かるようにページの上に、赤鉛筆で「自学」と書いてください。（自学用のノートを1冊用意してそれを中心に使いましょう。）

★日付や学習した教科書のページも書くと、自分の自学の歩みを振り返ることができ、成長がわかります。

★「何を」「何ページ」学習したか、自学の記録に記録していきましょう。

4年生

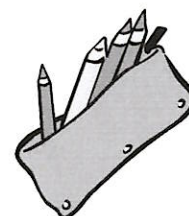
毎日45分間 家庭学習のすすめ



◎ 宿題を終えたら、自学に取り組もう！

- 1 今日の日付け（〇月〇日）と始める時刻（〇時〇分）をノートに書く。
- 2 ノートの右上に回数をつける。（No.1 No.2 のように書く）
- 3 今日の家庭学習を決める。（下の表のAメニューとBメニューも参考にしていよい）
自分でメニューを考えてもよい。

Aメニュー (日記・作文など)	Bメニュー (練習、調べ、作るなど)
・今日の授業で発言したこと ・今日の授業で発言しなかったこと ・今日の授業でわかったこと ・今日の授業で考えたこと ・今日の授業の復習 ・今日、心に残った先生の話・友達の話 ・今日、発見したこと ・5行日記、10行日記 ・作りばなし日記、作りばなし作文 ・友達のいいところを書く。 ・今日のニュースベスト5 ・今日のことわざ5つ（その説明も書く） ・今 うれしいことベスト3 ・今 こまっていること ・行事について（〇〇の練習でできるようになったこと、がんばったことなど） ・学校生活について（係や当番や日直の仕事で心に残ったこと、連絡したいこと） ・本を読んだ感想を書く ・おすすめの本の紹介 ・家族の人と話したこと。 ・家族の紹介（ペットも入れる） ・身近なものの紹介（自分の宝物など） ・今、話題のニュースについて ・写真や新聞の切り抜きを使った紹介	・まちがえやすい漢字 ・画数の多い漢字 ・同じ部首の漢字 ・視写（詩や物語や教科書を写す） ・まちがえやすい計算問題 ・まちがえやすい算数の文章問題 ・算数の文章問題づくり（式と答えも） ・ドリル復習 ・ミニミニ新聞、一日新聞 ・今日の俳句（五・七・五） ・歴史人物しらべ5人 （名前、どこの国の人、何をした人） ・〇〇について特集！（虫、花などの自然や科学のことなど本や百科事典などでどんどん調べて書く） ・勉強なぞなぞ・勉強クイズ ・都道府県と県庁所在地を調べて書く ・テストのまちがい直し

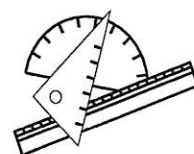


☆ ノートは家庭学習用を用意しましょう。

☆ 1日分は2ページ以上できるようにがんばりましょう。

5年生

毎日 1 時間 家庭学習をやりよう！



- 1 机に向かい、始める時刻を見る。（何時までやれば、1 時間か見ておくため）
- 2 連絡帳を見て、宿題を確認し、しっかりと終わらせる。
- 3 今日やる自学を決める。

国 語	・漢字ドリルのすでに習った熟語とその読み方を、何度もノートに書く。 ・漢字ドリルのテストのページをやり、丸付けをする。 ・間違えた字は、何度も書く。 ・教科書の後ろの1～4年で習った漢字を書く。 ・教科書や漢字ドリルに出ている熟語などの意味を調べ、ノートに書く。 ・教科書の本文を視写する。 ・新聞を読み、わかったこと、疑問に思ったことを書く。 ・音読や読書をする。
算 数	・その日の学習をまとめ直す。 ・習った問題をもう一度やってみる。 ・計算ドリルをやる。丸付けをして、間違えた問題は、やり直す。 （全部のページを、最低2回やろう。） ・テストやプリントのやり直しをする。 （ノートに問題を写してやり直すとさらによい。）
社 会 ・ 理 科 ・ 英 語 な ど	・その日の学習をまとめ直す。（ノートにもう一度書いて、確実におぼえる。） ・都道府県の場所や県庁所在地、特色について調べまとめる。 ・埼玉県の特徴について調べる。 ・図鑑やインターネットで調べたことをまとめる。 ・教科書のまとめ、自分にできる実験とそのまとめ、観察日記や飼育日記などをかく。 ・お手伝いをして、家庭科で習ったことを生かし、家族の一員としての役割を果たす。成果や感想をノートにまとめる。 ・新聞スクラップに取り組む。 ・アルファベット（大文字、小文字）を練習する。

ノートの使い方

- ★学習したことや調べたことが、後から見てもわかるように、ノートはていねいに、書きましょう。
- ★「自学」は、自学用のノートにやりましょう。
- ★日付や学習した教科書のページも書くと、自分の自学の歩みを振り返ることができ、成長がわかります。

6年生

毎日1時間 家庭学習をやりよう！



- 1 机にすわり、始める時間を見る。（何時までやれば、1時間か見ておくため）
- 2 連絡帳を見て、宿題を確認し、しっかりと終わらせる。
- 3 今日やる自学を決める。

国 語	○漢字ドリルのすでに習った熟語とその読み方を何度もノートに書く。 ○漢ドのテストのページをやり丸付けをする。間違えた字は、何度も書く。 ○教科書の後ろの1～5年で習った漢字を書く。 ○教科書や漢字ドリルに出ている熟語などの意味を調べ、ノートに書く。 ○教科書の本文を視写する。 ○新聞を読み、気になった記事の要約とそれに対する自分の意見を書く。 ○音読 ○読書 ○四字熟語やことわざの意味調べ ○有名な短歌や俳句を覚える（百人一首） 日記
算 数	○その日の学習をまとめ直す。習った問題をもう一度やってみる。 ○計算ドリルをやる。丸付けをして、間違えた問題は、やり直す。 （全部のページを、最低2回やろう。） ○テストやプリントのやり直しをする。 （ノートに問題を写してやり直すとさらによい。）
社 会 ・ 理 科 な ど	○その日の学習をまとめ直す。 （ノートにもう一度書いて、確実におぼえる。） ○地理関係（都道府県名等、県や国の特徴調べ、気になった統計データについて調べる） 歴史関係（人物調べ、歴史上の出来事調べ）、教科書や資料集等をノートにまとめる ○教科書のまとめ、自分でできる実験とそのまとめ、観察日記や飼育日記など ○資料集や図鑑、インターネットで調べたことをまとめる。 ○お手伝いをして、家庭科で習ったことを生かし、家族の一員としての役割を果たす。 図工：デッサン等、音楽：作曲してみる等、家庭：栄養群を調べる等 体育：保健をまとめる等 なども ○新聞スクラップに取り組む。

ノートの使い方

- ★学習したことや調べたことが、後から見てもわかるように、ノートはていねいに、書きましょう。
- ★「自学」は、自学用のノートにやりましょう。
- ★日付や学習した教科書のページも書くと、自分の自学の歩みを振り返ることができ、成長がわかります。